

祝辞

このたびは、一般社団法人全国日常生活支援住居施設協議会の設立ならびに設立大会が、このように盛大に関係者の御努力のもと開催されることを、心よりお慶び申し上げます。

今般、新型コロナウイルス感染症の問題、そして各地で大雨による大災害が発生しております。私ども、利用者を預かる立場の者からしますと、危惧や緊張の連続かと思いますが、ここは何とか皆様のご協力を得てこの難局を乗り切っていければと思っております。また、被災されている方には、心よりお見舞いを申し上げたいと思っております。

今般のコロナ禍においては、生活福祉資金の特例貸付が全国で240万件を超え、金額にしますと1兆円を超えているというようなお話も耳にいたします。

国はその状況に応じての施策を色々とやっていただいているわけですが、いずれこのような資金、施策が途切れる時が来るでしょう。そういった時に、いっそう今ある生活困窮者の問題、また生活保護の運用の問題というのがクローズアップされてくるかと思っております。

その時に、今日ここにお集まりの関係者をはじめ、私ども国のセーフティーネットの一翼を担う者が、積極的に困窮者の問題、生活保護受給者の問題についても、関与しなければいけないという思いを一層強くしております。

日常生活支援住居施設と、救護施設・更生施設といった措置施設もありますが、ともに利用者支援の充実を図り、情報を共有して、ともに社会に向けて貢献することによって、なんとかこの難局を切り抜けられたらと思っておりますので、貴法人のますますのご発展をお祈りする次第です。本日は誠にありがとうございました。

令和3年7月10日
全国救護施設協議会
会長 大西豊美